

平成27年度版小学校国語教科書

小学生の国語

ガイドダンス

自ら学び,自ら考え,
自ら問題解決する力を育む



三省堂

『小学生の国語』ガイドダンス

もくじ

学習の自立を求めて 中渕正堯

『小学生の国語』の編集方針

『小学生の国語』のつくり

『小学生の国語』のこんな工夫、あんな工夫

話すこと・聞くこと

書くこと

読むこと

読書への誘い

01

伝統的な言語文化に関する事項

18

02

言葉の特徴やきまりに関する事項

20

04

新しい取り立て漢字学習の方法

22

06

思考力・判断力・表現力の育成

24

10

図書館活用と情報リテラシー

26

12

サポート・ネットワーク・プログラム(SNP)

28

14

はさみこみリーフレット

・学年別教材一覧

・検討の観点と内容の特色

16



学習の自立を求めて

●小学生の国語「監修代表 中渕正堯

育ちゆく小学生に向かって、たのもししい人格たれと呼びかけたのは司馬遼太郎である。たのもししい人格であるためには、自己を確立すること、自分に厳しく、相手にはやさしくすること、いたわりという感情を持つことだと言っている。「二十一世紀に生きる君たちへ」——小学生が将来をかけて、自然と科学・技術、そして国家と世界という社会の調和を求めるとのたのもししい人格へと成長することの期待である。

学校教育の各教科、道徳、特別活動並びに総合的な学習の時間に展開される内容は、小学生に、自然と文化、そして社会を読み解くための基本となる知識・技能を提供し、自己確立に寄与しようとするものである。

その中であって、学習指導要領下の国語科は、大きく二つの役割を積極的に担うことになった。一つは、言語に関する知識・技能や態度に関わる国語科固有の任務である。いま一つは他教科等の言語活動を支え、同時に言語活動上の問題に学びつつ、それを解決する任務である。

こうした自覚のもとに、『小学生の国語』にこめられた第一の願いは、「読み解くに価する自然と文化、そして社会の内容を配列すること」である。

——学習の興味・関心はここに始まる。

第二の願いは、「児童の学習の自立と教師の授業の創意工夫を推進すること」である。——そのため、教科書を上下巻方式ではなく一冊にし、年間の見通しと振り返りを可能にする。単元は領域・事項の独立型とし、関連指導、総合指導は教室の創意工夫（学び合い）にゆだねる。さらに別冊資料集『学びを広げる』を準備し、児童の学習の自立に供し、教師の授業の創意工夫並びに他教科等の言語活動に資する。

第三の願いは、「学習指導の精選、重点化（習得）と読書学習の推進（活用・探究）を図ること」である。——他教科等との連携をも導く読書学習の保障は学習の自立の保障でもある。そのため読書のきめ細かな案内を行う。

第四の願いは、「漢字学習の授業改革をすること」である。——書写の学習指導、語句・語彙の学習指導と一体化した漢字学習の授業を進めることによって、この面からも学習の自立を支援する。

第五の願いは、「全ての言語活動を表現活動で裏打ちすること」である。——表現活動は記録をベースとし、気づき、感想、意見を加える。その習慣化もまた学習の自立である。



『小学生の国語』の編集方針

●基礎・基本をしっかりと身につけ、思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的な学習へと導く確かなカリキュラムを提案します。

●二年以降は、一年間を上下巻に分けず一冊とし、学年・学期・教材など、

さまざまな時期や段階で、学習を見通したり、振り返ったりすることができるようになりました。

●国語の学習をより豊かにするための資料集『学びを広げる』を作りました。

基礎的・基本的な
国語の学力が
確実に身につく

見通しをもって
学習に取り組める

さまざまな段階で
学習を振り返る
ことができる

『小学生の国語』

学習指導要領に示された指導事項・言語活動例を全ておさえた国語の教科書です。基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、習得した知識や技能を活用する力を身につけます。



『小学生の国語』全12冊

判型・ページ数

しょうがくせいのかくご 一年 上	B5・128
しょうがくせいのかくご 一年 下	B5・132
小学生のかくご 二年	B5・216
小学生のかくご 二年 学びを広げる	B5・40
小学生の国語 三年	B5・232
小学生の国語 三年 学びを広げる	B5・48
小学生の国語 四年	B5・232
小学生の国語 四年 学びを広げる	B5・48
小学生の国語 五年	B5・248
小学生の国語 五年 学びを広げる	B5・48
小学生の国語 六年	B5・256
小学生の国語 六年 学びを広げる	B5・56

『小学生の国語 学びを広げる』

個に応じた学習を前提とし、必要に応じて参照できる資料集です。

豊かな情操や伝統文化を尊重する内容、国語の学習で培った知識・技能を確かめたり、広げたりできる内容を掲載しています。

伝統的な言語文化に
親しむことができる

表現に生きる
語彙が身につく

読書生活を
豊かにする

1年は、国語の学びを無理なく自然にスタートできるよう配慮しています。

上・下各巻末に資料「学びを広げる」パートを配置し、2年からの学びへ円滑に接続します。

1年は、
上・下巻構成



『小学生の国語』のつくり

- 年間を通じて一冊の教科書で学習することにより、学年・学期・教材など、あらゆる段階における学習の見通しと振り返りを可能にしました。
- 学習指導要領に示された指導事項・言語活動例は、『小学生の国語』で全て対応しています。
- そのため、授業時数は、『小学生の国語』のみで配当しています。
- およそひと月に一冊ずつ中心教材を配置し、子どもたちの日常生活や学校生活に即した教材配列を重視しました。
- 一教材一領域にねらいを焦点化し、子どもたちが明確な目標をもって学習に取り組めるようにしました。

4年「もくじ」

もくじ

声に出して読む「まいにち「おはつ」」	工藤 直子 8
お話季聞「おじいちゃんの水のおいがした」	今森 光彦 10
図書館へ行く	12

様子を思い浮かべながら音読しよう

白いぼうし

文と文をつなぐ言葉

こんなこと、ありませんか

段落のつながりに気づけて読む

打ち上げ花火のひみつ

ふせん紙を使って整理しよう

お願いやお礼の手紙を書こう

落語「じゆげむ」

みんなの詩、わたしの詩

漢字辞典を使おう

写真に題名をつけよう

漢字の意味

声に出して読もう——短歌

あまんさんのへや

夏の海

川崎 海

92

90

88

86

84

82



はじまり

各学年とも、声を出すことと、読書生活を広げることから国語学習が始まります。

おじいちゃんの水のおいがした
 田代まさし



11 おじいちゃんの水のおいがした(田代まさし)

一年間の見通し

目次のあとに、教材のねらいを領域ごとに示しました。一年間の見通しをもつて学習を進めることができます。

読むこと	書くこと	話すこと・聞くこと
<ul style="list-style-type: none"> 1. 読み取りのねらいを達成するために、教科書の構成や構成要素の役割を把握し、読み進める。 2. 読み取りのねらいを達成するために、教科書の構成や構成要素の役割を把握し、読み進める。 3. 読み取りのねらいを達成するために、教科書の構成や構成要素の役割を把握し、読み進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 書くことのねらいを達成するために、書くことの目的や場面を把握し、書く。 2. 書くことのねらいを達成するために、書くことの目的や場面を把握し、書く。 3. 書くことのねらいを達成するために、書くことの目的や場面を把握し、書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 話すこと・聞くことのねらいを達成するために、話すこと・聞くことの目的や場面を把握し、話すこと・聞く。 2. 話すこと・聞くことのねらいを達成するために、話すこと・聞くことの目的や場面を把握し、話すこと・聞く。 3. 話すこと・聞くことのねらいを達成するために、話すこと・聞くことの目的や場面を把握し、話すこと・聞く。



進行に合わせて話そう

安全について考えよう

話す・聞く

漢字の足し算 **読める**
百科事典で調べよう **読める**
お気に入りの場所 **書く**
ローマ字 **読める**



気持ちの動きを考えながら読もう

ごんぎつね

読む

国語辞典も活用しよう **読める**

読む

新美 南吉

月のかけ絵

読む

大きくなったらになりたいもの **話す・聞く**

読む

藤井 旭



冬の満月 **読む**
文の区切れ **読める**
高木 あきこ

組み立てをくふうして書こう

新聞でニュースを伝える

書く

新聞のくふうを知ろう **読める**

読む

172

読んだことをたがひめよう

じゃんけんの仕事

読む

レポーターになろう **話す・聞く**

読む

加藤 良平



漢字の使い分け **読める**

読む

金子 みずへ

あなたがわたりあつたところが

読む

二十歳のわたしへ **書く**

読む

キャロル・カウティス・ハース
千枝 茂樹 やく



新しい漢字を学ぼう	
①	14
②	34
③	52
④	66
⑤	98

四年生で学んだ漢字	
①	50
②	96
③	142
④	176
⑤	196

★ 言葉の意味を調べよう
辞書の意味を調べよう
話すと書きやるとに、使えらるうじにましよう。

学年のまとめ

「書くこと」で自分を振り返り、一年間の学習をしめくくります。

二十歳のわたしへ



漢字学習

学年配当漢字と前学年配当漢字の教材を定期的配置しました。年間を通して、偏りなく見通しをもった漢字学習ができます。

新しい漢字の学習

学年	漢字	読み	書き
1	位	イ	イ
2	位	イ	イ
3	位	イ	イ

新しい漢字の学習

学年	漢字	読み	書き
1	位	イ	イ
2	位	イ	イ
3	位	イ	イ

年間を通じた振り返り

巻末に、各教材の「覚えておきましょう」で示した国語の知識や技能をまとめました。一年間で学習したことを振り返ったり、確かめたりすることができます。

振り返り	振り返り	振り返り
...

『小学生の国語』のこんな工夫、あんな工夫

わかりやすい！ 角書き・小見出し・フローチャート・覚えておきましょう

6年説得力のある意見

洪庵のたいまつ



世のためにつくした人の一生ほど、美しいことには、特に美しいまが、を返った人について洪庵のことである。

この人は、江戸末期に生まれた。医者であった。

かれは、名を改めず、利を求めなかった。あれほどほどの実力がありながら、しかも他の生がいは、はるかな山のように、実に異なっていて、洪庵は愛人ではなかった。どの村小づのおやかな人がらの人だった。

病人には親切で、その心は、つまにはあてがれ、洪庵の医学は、これなく、世にラング医学、蘭学、ようを医者は、美人こそなる、このうで、愛わったおと、洪庵は大徳、金、文子、オランダ、いばんの人、れなかつたか。

司馬 実成、文井 蘭、徳次郎

5年 洪庵のたいまつ



人物の生年方について考よう

1 洪庵の生年方について考よう

2 人物の生年方について考よう

3 人物の生年方について考よう

「角書き」で、身につけたい力や言語活動の内容を示し、子どもたちが明確な目標をもつて学習に取り組めるようにしました。

「小見出し」を立てて、学習の手順が明確になるようにしました。

説得力のある意見

日々の生活や学習の中で、関心のある事からついで、自分の意見を持つことがあてまて、その意見を、文章を書いて先生や友達に伝えること、より深まっています。

自分の意見に説得力を持たせるには、どのようなことが必要なのか、考えてみましょう。

- 1 意見の中心を明確にする
- 2 理由を挙げて意見を述べ、文で書き表しましょう。
- 3 具体的な例を挙げて意見を述べ、文で書き表しましょう。
- 4 相手の意見に賛成・反対の理由を述べ、文で書き表しましょう。
- 5 相手の意見に賛成・反対の理由を述べ、文で書き表しましょう。

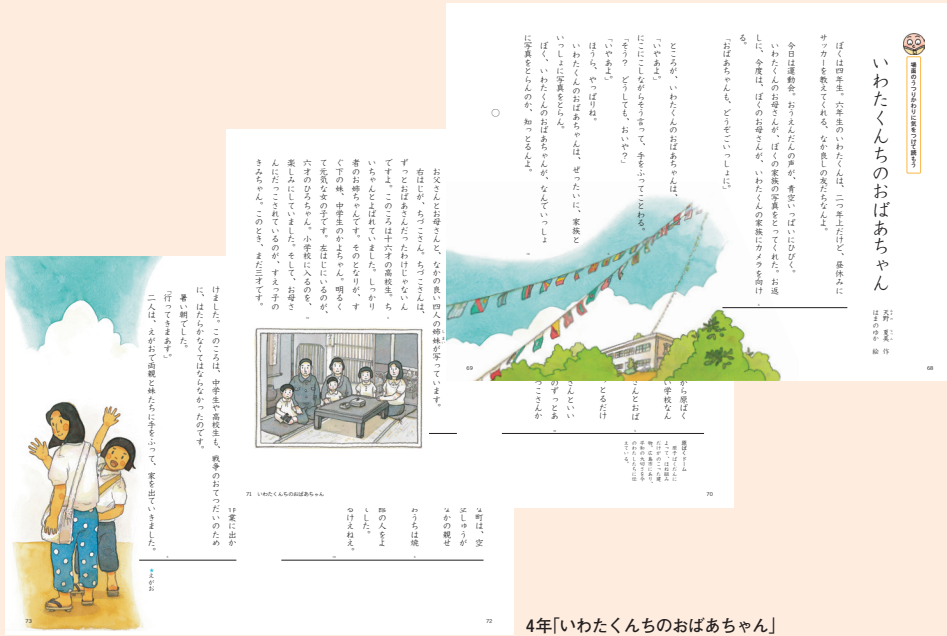


2年以降は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の中心的な教材と「読むこと」の教材全てに「覚えておきましょう」を設けました。基礎的・基本的な言語技能を定着させ、他の学習で活用できるようにしました。

3年以降の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の中心的な教材では、学習の流れを「フローチャート」で示し、見直しをもって学習に取り組めるようにしました。

読みやすい！ 見開き始まりの教材構成

- 見開きの一覧性を生かし、全ての教材が偶数ページ(見開きの右ページ)から始まるようにしています。
- 「読むこと」の教材、とりわけ物語教材では、見開き単位での場面展開を重視し、スムーズな学習を支援する児童に優しいページ構成を実現しました。



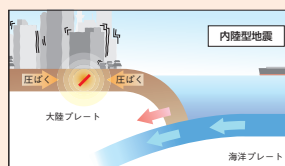
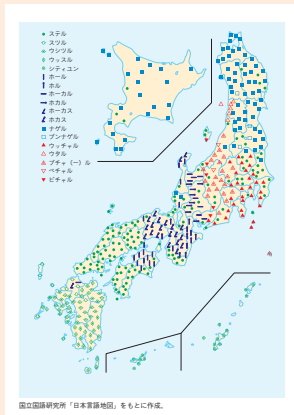
4年「いわたくんちのおばあちゃん」

学びやすい！ 本づくりの工夫

- 点画等を書き文字に近づけ、学びやすく読みやすいオリジナルの教科書体活字を開発しました。

あいうえお

- カラーユニバーサルデザインの観点から、識別しにくい配色は避け、形や記号・罫線などの工夫を凝らし、誰でも抵抗なく読めるように配慮しました。



- 辞書づくりのノウハウを生かし、独自の本文用紙を開発しました。薄くて軽く、耐久性に富んだ本文用紙となっています。



学習をより豊かに！ 資料集「学びを広げる」

● 学習を充実させたり、確かめたりすることができる資料を掲載しました。

国語で学習した知識や技能を確かめて定着させることで、他の学習や日常生活に生きてはたらく言語能力が身につきます。


6年「司会の役割・みんなの役割」

司会の役割

- 司会者が司会をするとき、話し手や聞き手はどのような役割をもち、どのようにふるまうべきか。
- 司会者が司会をするとき、話し手や聞き手はどのような役割をもち、どのようにふるまうべきか。
- 司会者が司会をするとき、話し手や聞き手はどのような役割をもち、どのようにふるまうべきか。

みんなの役割

- 司会者が司会をするとき、話し手や聞き手はどのような役割をもち、どのようにふるまうべきか。
- 司会者が司会をするとき、話し手や聞き手はどのような役割をもち、どのようにふるまうべきか。
- 司会者が司会をするとき、話し手や聞き手はどのような役割をもち、どのようにふるまうべきか。




6年「司会の役割・みんなの役割」

5年「国語学習のための用語集」

国語学習のための用語集

- 国語学習の目的と意義。
- 国語学習の基本的な考え方。
- 国語学習の具体的な実践方法。
- 国語学習の評価方法。




5年「国語学習のための用語集」

5年「違う字で同じ読み」

違う字で同じ読み

留止 (とどまる)	解説 (かいげ)	造作 (ぞうさく)	辱熱暑 (とくねつしょ)	在有 (ざいいう)
水長 (みづながい)	採取 (さいしゆ)	河川 (がわん)		

国語学習の基本となる語句・語彙を拡充し、言語感覚を養います。



国語学習の基本となる語句・語彙を拡充し、言語感覚を養います。

6年「小さな図書館」

6年「小さな図書館」

小さな図書館

本や文章に親しむ機会をいっそう充実させます。古典作品も豊富に収録しています。



本や文章に親しむ機会をいっそう充実させます。古典作品も豊富に収録しています。

6年「四季の言葉」

四季の言葉

春、夏、秋、冬の季節ごとの言葉や表現をまとめた資料集。季節の行事や自然の描写が豊富に紹介されています。



5年「平家物語」

5年「平家物語」

平家物語

源平合戦の歴史をたどる物語。登場人物の活躍や戦いの様子が詳しく描かれています。



話す・聞く



●各学年、五つの系列で構成し、六年間の学びの系統を明確にしました。
 ●「話し合い」と「説明・報告」の系列を中心に教材としながら、各学年における一年間の学習活動のつながりにも配慮しています。

スピーチ

- 1年 わたしの好きなもの
- 2年 できたらいいな
- 3年 小さなできごと

- 4年 こんなこと、ありませんか



聞き手を意識して、自分の体験を話します。

- 5年 おすすめします、この一さつ
- 6年 このニュース、わたしはこう思う

声と身体

- 1年 いろいろなこえ
- 2年 自分の声で
- 3年 声を合わせて楽しく読もう

- 4年 落語 じゅげむ



落語を通して、間の取り方や抑揚・強弱などを工夫します。

- 5年 狂言 しびり
- 6年 わたしたちの言葉

声を出すことの身体性に着目して、言葉とともに身ぶりや表情、しぐさなどの側面への意識を喚起しています。

話題設定や取材に重点を置き、自分や身近なことについて話します。基礎的・基本的な技能を確実に習得します。

3年「よりよいクラスを作ろう」

学びを広げる

「学びを広げる」には、
 こんな資料も載っています。

3年「一対一で話すときには」

6年「お礼にしたいあの人物」

説明・報告

- 1年 きのうこんなことがあったよ
- 2年 夏休みの思い出
- 3年 昔のことを聞いてきました

●4年 レポーターになろう



生活の中の疑問をもとに、調べたことを整理して話します。

- 5年 メディアについて考える
- 6年 お礼にしたいあの人物

思考と表現 (プラザ)

- 1年 ねえ、どっち？
- 2年 電話でつたえよう
- 3年 南の島へようこそ

●4年 大きくなったら なりたいもの

1978年		2006年	
男子	女子	男子	女子
1 野球選手	1 ようち園・保育園の先生	1 スポーツ選手	1 幼稚園・動物看護員
2 会社員	2 学校の先生	2 医者	2 ようち園・保育園の先生
3 職人気業をもつ	3 夢じ員	3 学校の先生	3 パン屋・ケーキ屋

二つの資料を比べながら考えたことを表現します。

- 5年 写真と絵、どちらを選ぶ？
- 6年 どんな国？

話し合い

- 1年 クイズでおしえます
- 2年 コンテストに出すこまをきめよう
- 3年 よりよいクラスを作ろう

●4年 安全について考えよう



学校や地域の安全について、進捗にそって話し合います。

- 5年 動物とともに生きるために
- 6年 平和な世の中を築くために
ーパネルディスカッションー

相手や目的に応じて、適切に話したり聞いたりする活動です。聞き手にわかりやすく伝えるための工夫を系統的に学習します。

言葉の他に、図表や絵、写真などにも題材を求め、実生活、言語生活に役立つ知識・技能の習得や活用を目標としています。 ◎P.24

考えを一つにまとめることや互いに考えを深めることなど、目的に応じて話し合いを行います。テーマや形態の面でも多様な活動を設定しています。

5年「同会をするときには」

4年「グループで話すときには」

書くこと



●「体験・生活文」「記録・報告文」を中心とした七つの系列で構成しています。

●「手紙」系列で相手意識・目的意識をもつことから「書くこと」の学習が始まり、「書くこと」で振り返る「系列」で一年間の学習をしめくくります。

手紙

- 1年 かいてつたえよう
- 2年 手紙をこうかんしよう
- 3年 あんないの手紙を書こう

- 4年 お願いやお礼の手紙を書こう

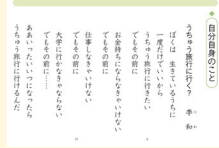


依頼状や礼状の書き方を身につけます。

体験・生活文

- 1年 えにつきをかこう
- 2年 このまえあったこと
- 3年 自分を見つめて

- 4年 みんなの詩、わたしの詩



楽しく詩を書き、読み合います。

- 5年 人との関わりの中で
- 6年 自由な発想で—随筆—

思考と表現 (プラザ)

- 1年 いぬのきもち
- 2年 なにをつたえようとしているの
- 3年 何をしているのかな

- 4年 写真に題名をつけよう



自由に想像しながら解釈し、写真に合った題名をつけます。

- 5年 このあと、どうなる?
- 6年 あなたの意見は?

日常生活でよく目にする写真・イラスト・図・表などのさまざまな情報を解釈し、考えたことを自分の言葉で表現します。 ◎P.24

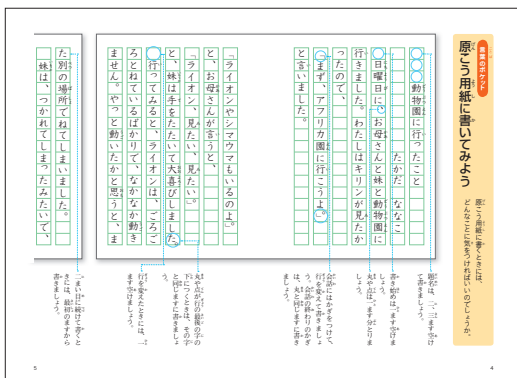
自分の体験や生活を見つめて題材を選び、表現したい思いや考えが明確に伝わるような構成を工夫します。

「書くこと」に親しみ、手紙を書く楽しさを味わえます。相手意識・目的意識の喚起は、「紹介・推薦文」の系列へ円滑につながっていきます。

2年「この まえ あった こと」

学びを広げる

「学びを広げる」には、こんな資料も載っています。



2年「原こう用紙に書いてみよう」



5年「見学レポート」

書くことで 振り返る

- 1年 できるように
なったこと
- 2年 みんなの思い出
- 3年 三年生は楽しいよ

● 4年 二十才のわたしへ



10年後の自分に向けた手紙を書きます。

- 5年 心を動かされた言葉
- 6年 世界に一冊の「マイブック」

各学年の最後に、「書くこと」を通して自分の成長を確かめ、次の学年へつなげていくことができる教材を配置しました。

創作

- 1年 きょだいなきょだいな
- 2年 きぜつライオン
- 3年 カルタを作ろう

● 4年 故事成語の物語



故事成語を基に、想像を広げて物語を作ります。

- 5年 句会を楽しむ
- 6年 短歌を作る

創造的な表現の楽しさが感じられることを主眼に置いた教材の系列です。楽しく自然に伝統的な言語文化にもふれられます。

記録・報告文

- 1年 みのまわりのいきもの
- 2年 わたしのはっけん
- 3年 クラスのことを調べよう

● 4年 新聞でニュースを伝える



組み立てを工夫して新聞記事を書きます。

- 5年 見学レポート
- 6年 説得力のある意見

経験したことや観察したこと、調べたことなどの事実に基づき、論理的に構成された文章を書くことを目指します。

紹介・推薦文

- 1年 わたしのよんだ本
- 2年 見て、聞いて、さわって
- 3年 こんなやり方を おすすめします

● 4年 お気に入りの場所



お気に入りの場所を書いて伝えます。

- 5年 グループ新聞
- 6年 よさを伝える広告

相手意識・目的意識を明確にしつつ、発見したことや伝えたいことを効果的に表現する方法を身につけます。

6年「説得力のある文章を書くには」

地球温暖化を防ぐことでは、地球温暖化の防止は、これは大変重要です。海や川は、魚や貝類が住んでいますが、その環境が壊れると、魚や貝類は生きていけません。また、地球温暖化を防ぐには、温室効果ガスを減らすことが大切です。そのためには、省エネ家電を使うことや、マイボトルを持ち歩くことが効果的です。また、公共交通機関を利用することも、地球温暖化の防止に貢献します。私たちは、地球温暖化の防止のために、自分たちの生活を見直さなければなりません。

地球温暖化を防ぐことでは、地球温暖化の防止は、これは大変重要です。海や川は、魚や貝類が住んでいますが、その環境が壊れると、魚や貝類は生きていけません。また、地球温暖化を防ぐには、温室効果ガスを減らすことが大切です。そのためには、省エネ家電を使うことや、マイボトルを持ち歩くことが効果的です。また、公共交通機関を利用することも、地球温暖化の防止に貢献します。私たちは、地球温暖化の防止のために、自分たちの生活を見直さなければなりません。

地球温暖化を防ぐことでは、地球温暖化の防止は、これは大変重要です。海や川は、魚や貝類が住んでいますが、その環境が壊れると、魚や貝類は生きていけません。また、地球温暖化を防ぐには、温室効果ガスを減らすことが大切です。そのためには、省エネ家電を使うことや、マイボトルを持ち歩くことが効果的です。また、公共交通機関を利用することも、地球温暖化の防止に貢献します。私たちは、地球温暖化の防止のために、自分たちの生活を見直さなければなりません。

6年「説得力のある文章を書くには」

4年「お願いの手紙を書くときには」

お願いの手紙を書くときは、相手への敬意や感謝の気持ちを伝えることが大切です。まず、相手の名前や住所を正確に記載し、丁寧な挨拶をします。次に、お願いの理由や背景をわかりやすく説明し、お願いの具体的な内容を述べます。最後に、相手の都合を考慮し、断られた場合のフォローアップも考えておきましょう。手紙の書き出しや結びは、丁寧な言葉遣いを心がけ、相手に伝わりやすいように心がけます。

お願いの手紙を書くときは、相手への敬意や感謝の気持ちを伝えることが大切です。まず、相手の名前や住所を正確に記載し、丁寧な挨拶をします。次に、お願いの理由や背景をわかりやすく説明し、お願いの具体的な内容を述べます。最後に、相手の都合を考慮し、断られた場合のフォローアップも考えておきましょう。手紙の書き出しや結びは、丁寧な言葉遣いを心がけ、相手に伝わりやすいように心がけます。

お願いの手紙を書くときは、相手への敬意や感謝の気持ちを伝えることが大切です。まず、相手の名前や住所を正確に記載し、丁寧な挨拶をします。次に、お願いの理由や背景をわかりやすく説明し、お願いの具体的な内容を述べます。最後に、相手の都合を考慮し、断られた場合のフォローアップも考えておきましょう。手紙の書き出しや結びは、丁寧な言葉遣いを心がけ、相手に伝わりやすいように心がけます。

4年「お願いの手紙を書くときには」

読むまじ



● 物語教材は、教科書教材として定評のある作品と、新たに教材化した作品とをバランスよく配列しました。
 ● 心に残る精選された名作が「ことば・こころ・いのち」を育みます。
 ● 説明文教材は、情報・環境・平和・伝統文化の継承など、現代的課題を取り上げ、段落構成のしつかりとしたものをそろえました。

詩教材一覧

物語教材一覧

あいうえおにぎり (ねじめ正一)
 きもち (さくらももこ)
 ピンときた! (かえるたくお)
 いっころ (谷川俊太郎)

にくをくわえたいぬ (川崎洋)
 どうぞのいす (香山美子)
 おおきなかぶ (A・トルストイ)
 あいしているから (M・ニューマン)
 いなばの白ウサギ (宮川ひろ)
 夕日のしずく (あまんきみこ)

一年

シーソーにのったら (岸田衞子)
 雨のうた (鶴見正夫)
 お月夜 (北原白秋)
 くまさん (まど・みちお)

たろうのともだち (村山桂子)
 お手紙 (A・ローベル)
 きつねのおきゃくさま (あまんきみこ)
 かさこじぞう (岩崎京子)
 フレデリック (L・レオニ)

二年

うんとこしょ (谷川俊太郎)
 ぼくんち (木村信子)
 夕日がせなかをおしてくる (阪田寛夫)
 いのち (三越左千夫)

ピータイルねこ (岡田淳)
 うざぎのさいばん (キム・セシル)
 わすれられないおくり物 (S・パーレイ)
 おにたのぼうし (あまんきみこ)

三年

まいにち「おはつ」 (工藤直子)
 夏の海 (川崎洋)
 冬の満月 (高木あきこ)
 ふしぎ (金子みすゞ)

白いぼうし (あまんきみこ)
 いわたくんちのおばあちゃん (天野夏美)
 ごんぎつね (新美南吉)
 あたまにつまった石ころが (C・O・ハースト)

四年

はしる電車の中で (まど・みちお)
 雪・土 (三好達治)
 さりさりと雪の降る日 (山本なおこ)

カニモトくん (ときありえ)
 競走 (佐藤雅彦)
 洪庵のたいまつ (司馬遼太郎)
 大造じいさんとガン (椋鳩十)

五年

千枚田 (藤井要)
 だいち (谷川俊太郎)
 あいたくて (工藤直子)

竜 (今江祥智)
 紅鯉 (丘修三)
 まほう使いのチョコレート・ケーキ (M・マーヒー)
 雪わたり (宮沢賢治)

六年

詩教材の三系列
 ① 音読
 ② 解釈
 ③ 考えの形成・交流

物語教材の四系列
 ① 音読
 ② 解釈・読書
 ③ 解釈・考えの形成
 ④ 考えの形成・交流

説明文教材一覧

しっぽしっぽ (堀浩)
ぼうしのはたらき (横矢真理)
なにができるかな (中村智彦)

つばめのすだち (本若博次)
たねのたび (中西弘樹)
紙パックで、こまを作ろう (今井美佐)

米と麦 (吉田久)
「農業」をする魚 (新田末広)
身ぶりのはたらき (東山安子)

打ち上げ花火のひみつ (冨木一馬)
月のかけ絵 (藤井旭)
じゃんけんの仕組み (加藤良平)

「十秒」が命を守る (松森敏幸)
動物の「言葉」人間の「言葉」 (池上嘉彦)
コウノトリが教えてくれた (池田啓)

宇宙時代を生きる (野口聡一)
「なべ」の国,日本 (渡辺あきこ)
猿橋勝子 (堀切和雅)
二十一世紀に生きる君たちへ (司馬遼太郎)

- ① 音読・解釈
② 考えの形成・効果的な読み方
③ 交流・読書
- 説明文教材の三系列



夕日のしずく
ある かつの 日。
ひとりぼっちの きりんが、なだらかかを
かけ上がって、とおくの うみを 見て いた。
すると、どこからか、小さな こえが
きこえて、きた。
「きりんくん、きりんくん。」
きりんは、草はらを 見まわした。
「だれ? どこ?」
きりんは、小こえに
なつて、きいた。
「ぼく、こゝ。ほら、
きみの、足もど。」
目を こらすと、
小さい、あつたちが
見えて、きた。

あんな、まごころ、
しのびか、すてきえ

1年「夕日の しずく」



ピータイルねこ
本当に、きよは学校に行きたくなけど、みどり思つた。
学校に行きたくないのは、きよはにかきつてきこえない。学校
四月からずっとだ。でも、きよは、とくべつに思つた。
それは、ほけん当りせいでいい。朝の金で出せとけつせき
をらべん先生が、けんこかんさつといふ紙に、何が書きたむ。
それをほけんまで持っていくのはけん当りだ。きよはみどりの
番だ。それがいいやつだ。
みどりは、休み時間も、先生が、いっしょでないで、うらどろ地には
きこえてくる。

出ない、学校で一人で行けるよ。は、ト
イシだけ、おれもできるだけかまんで
いる。それなのに、たつた一人で、二階の
「第二組の教室から一階のほけんまで行
かなければならぬ」といふのだ。
「たいしつ、行けるわよ。」
寒が出る前にお母さんは言った。
「元気が出るように、みどりが大好きな緑
色のワンピースをましろようね。」
みどりは小さくうなずいた。いつもそう
なのだ。お母さんや先生に聞かされるど
うなずいてしまう。うなずくが、いざとな
るとできないのだ。

17 ピーターねこ

3年「ピータイルねこ」



宇宙時代を生きる
「宇宙時代の生きるとは、自由な生き方であるよ。」
二〇〇五年七月、ぼくは六人の仲間とともに、スペースシャトル「ディスカ
バリー」に乗って、アメリカ・フロリダ州の軌道発射台から、宇宙飛行士
「ステーション」宇宙センターから、宇宙に飛び出た。宇宙飛行士に選
ばれたのは九年前、宇宙飛行士になってから四年間、いびきを覚えてから四年
間といて、いびきをいびきで、ついにいびきをいびきで、いびきをいびきで、
スペースシャトルでは、一八八年の知恵以来、宇宙飛行士が実験を
して、宇宙空間で人工衛星を宇宙空間に放出した。そして、さまざまな
研究が行われてきた。この日は、スペースシャトル第十四回目の打ち上
げである。

ぼくたちは、十五日前宇宙にたかたか、さう、地球の周りを二回九周し
た。スペースシャトル内でのさまざまな実験や調査の忙し、アメリカ、ロシア、
カナダ、ヨーロッパの国々、日本も計五か国でついで、すでに宇宙で動
作している、宇宙の研究船、といる。宇宙飛行士「ステーション」に到着する
ことで、重要な任務をいくつも行った。

38

6年「宇宙時代を生きる」

読書への誘い



● 学習したことが自然に読書生活に結びつくように、教材に関連する本を「わたしの本だな」で紹介しています。
 「わたしの本だな」は、「読むこと」の教材だけでなく、「話すこと・聞くこと」「書くこと」のほぼ全ての教材に設けています。
 ● 物語の作り手であり、教科書の監修者でもあるあまんきみこさんからの誘いとして、「あまんさんの部屋」を置きました。

わたしの本だな

3年「農業」をする魚

3年「わすれられないおくり物」

3年「カルタを作ろう」

2年「小さな図書館」



2年「スーフと馬頭琴」

伝統的な言語文化に関する事項



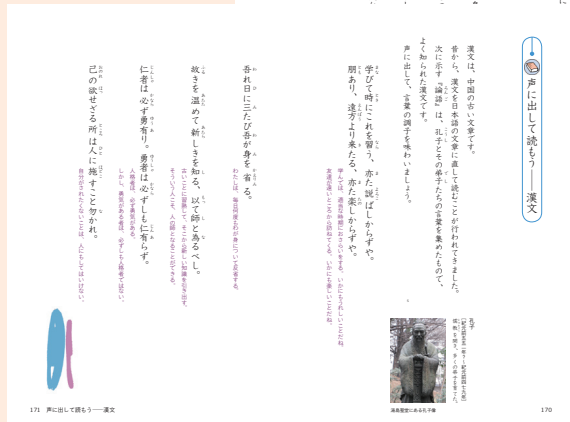
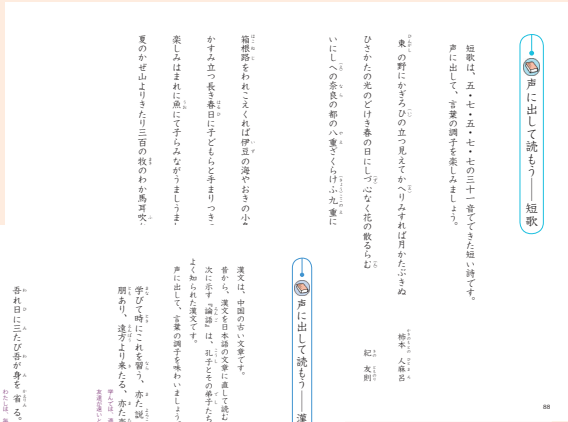
●子どもたちの日常生活、言語生活と、日本の伝統的な言語文化とを結びつけられるように工夫しました。

●音読・暗唱を学習の中心に据えた取り立て教材と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材の中で取り上げた関連教材とを設定し、さまざまな場面で、伝統的な言語文化に親しめるようにしました。

音読・暗唱を学習の中心に据えた取り立て教材

- 3年 声に出して読もう——俳句
- 4年 声に出して読もう——短歌
- 5年 声に出して読もう——外国の詩
- 6年 声に出して読もう——漢文

4年「声に出して読もう——短歌」

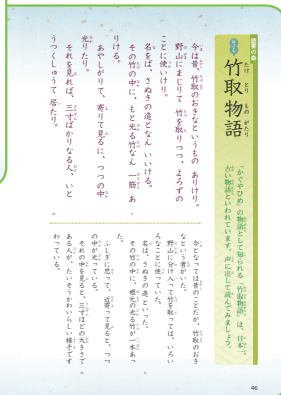


6年「声に出して読もう——漢文」

学びを広げる



4年「まんじゅうこわい」



3年「竹取物語」

各領域の学習との関連教材

- 1年** いなばの白ウサギ **【読む】** 日本の神話を読む。
- 2年** かさこじろう **【読む】** 日本の民話を読む。
- 3年** カルタを作ろう **【書く】** カルタ作りを通して、百人一首・いろは歌・ことわざにふれる。
- 4年** 落語 じゅげむ **【話す・聞く】** 言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意して、分担して落語を読む。
 故事成語の物語 **【書く】** 故事成語の由来をもとに、物語を書く。
- 5年** 狂言 しびり **【話す・聞く】** 言葉遣いの工夫やおもしろさを意識して、分担して狂言を読む。
 雪・土 **【読む】** 文語調で書かれた詩を、声に出して読む。
 句会を楽しむ **【書く】** 俳句を作ったり、読んだりして、表現の効果を確かめる。
- 6年** 自由な発想で一随筆 **【書く】** 随筆を書くことを通して、枕草子・徒然草にふれる。
 短歌を作る **【書く】** 短歌を作ったり、読んだりして、表現の効果を確かめる。



6年「自由な発想で一随筆」

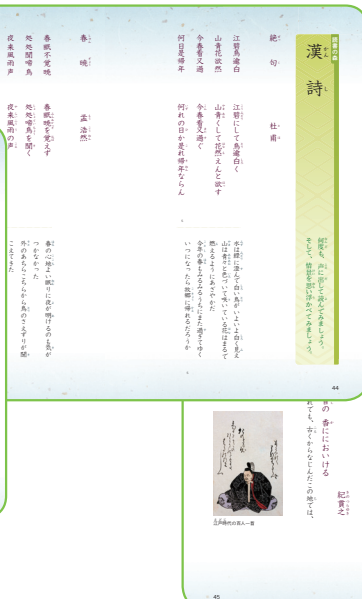


5年「狂言 しびり」

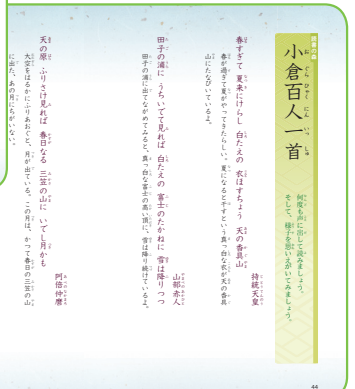
5年「漢詩」



6年「おくのほそ道」



4年「百人一首」



新しい取り立て漢字学習の方法



- 漢字取り立て教材を定期的に配列しました。
- 年間を通して、一度に学習する漢字の数に偏りなく、見通しをもった漢字学習を実現できます。
- 教材で使われている当該学年の漢字を、直前の「新しい漢字を学ぼう」で取り立てて先に学習します。
- 教材の中で再び出会い、使い方を確かめることで、表現に生きる漢字の使い方が身につきます。

新しい漢字を学ぼう

9



1 —の漢字に気をつけて、次の文を読みましょう。

- 血液型で性格は判断できない。
- その仮説に賛同する人も多かった。
- 旧式の耕運機を大事に使っている。
- 父は減量のために禁酒している。
- 学校の講堂で記念式典を行う。
- レモンやゆずは酸味が強い。

2 次の文章を読みましょう。

二酸化炭素を減らす取り組みをするための講習会に出席した。旧友もいっしょだったので心強かった。

3 —の漢字に気をつけて、次の文を読みましょう。

- 飼料にすく類が豊かに実った。
- 校舎の修理をする日程が決まった。
- 一人一人に卒業証書が手わたされた。
- 物を作る職人の精神力に感動した。
- 合唱団では毎年「第九」を歌う。
- ものさして長さを比べる。
- 世界の富のくらゐを取材する。

液	液液液液液液液液液液	液	液液液液液液液液液液
減	減減減減減減減減減減	減	減減減減減減減減減減
耕	耕耕耕耕耕耕耕耕耕耕	耕	耕耕耕耕耕耕耕耕耕耕
講	講講講講講講講講講講	講	講講講講講講講講講講
酸	酸酸酸酸酸酸酸酸酸酸	酸	酸酸酸酸酸酸酸酸酸酸
餐	餐餐餐餐餐餐餐餐餐餐	餐	餐餐餐餐餐餐餐餐餐餐
飼	飼飼飼飼飼飼飼飼飼飼	飼	飼飼飼飼飼飼飼飼飼飼
程	程程程程程程程程程程	程	程程程程程程程程程程
団	団団団団団団団団団団	団	団団団団団団団団団団
証	証証証証証証証証証証	証	証証証証証証証証証証
比	比比比比比比比比比比	比	比比比比比比比比比比
富	富富富富富富富富富富	富	富富富富富富富富富富

174

「新しい漢字を学ぼう」は、漢字の読み方・書き方・使い方を繰り返し学習することで、漢字を確実に習得できます。

5年 四年生で学習した漢字③



四年生で学んだ漢字③

◆ 特別に漢字を学習する機会

134

前の学年で学んだ漢字は、楽しいイラストと合わせて復習し、使いこなせるようになります。

4 次の文章を読みましよう。
ひと月に三回程度、生き物のえさやり当番が回ってくる。校舎のうらの飼育小屋に入ったら、油断はできない。にわとりが集団で、わたしに向かってくるからだ。

・セイ	14画	・ホウ	13画
・精	14画	・豊	13画
・精	14画	・豊	13画
・精	14画	・豊	13画
・精	14画	・豊	13画
・精	14画	・豊	13画

175 新しい漢字を学ぼう⑨

5年「新しい漢字を学ぼう⑨」



コウノトリが教えてくれた

池田 啓

「わあっ」
集まった三千人近くの人たちの、地ひきにも似たかん声とともに、五羽のコウノトリが大空へと羽ばたいた。箱から飛び出したコウノトリは、うすぐもりの空に向かって、まっすぐに飛んでいった。二〇〇五年（平成十七年）九月、兵庫県豊岡市にある県立コウノトリの郷公園。絶滅の危機にあつたコウノトリを保護し、飼育して数を増やし、自然の里山へと放鳥することができたゆんかんてある。

しかし、コウノトリを里山へ帰す取り組みに力を注いできたわたしたちにとって、この日にたるとる道りは、決して平坦なものではなかつた。

もともとコウノトリは、東北から九州にかけて広く生息していた。ところが、明治時代にじゅうがが回り、禁りようがゆるむと、一時的に大型の鳥類らしくさされた。そしてコウノトリも、一八七七年（明治二十年）を過ぎると、兵庫県北部の但馬地方でしか見られなくなつてしまつた。田んぼにコウノトリがいる風景があたりまたった但馬地方。やがてその但馬地方からも、コウノトリはさがたを消すことになる。

183 コウノトリが教えてくれた

182

5年「コウノトリが教えてくれた」

漢字を先に学習することによって、その後の教材では、漢字にとらわれることなく、領域のねらいに焦点化した学習ができます。



135 四年生で学んだ漢字⑨

学びを広げる

違う字で同じ読み

<p>しわ</p> <p>潮 塩</p> <p>潮が引く 塩をこする</p>	<p>おさめる おさまる</p> <p>納 収 修 治</p> <p>品物を納める 成功を収める 争いが収まる 虫が修まる 庭を治める</p>	<p>あわわす あわわれる</p> <p>現 表</p> <p>現を現す 表に表れる</p>	<p>あたたか あたたかい</p> <p>暖 温</p> <p>暖かい 暖める 温かい 温める</p>	<p>おろす おりる</p> <p>降 下</p> <p>降る 下がる</p>
	<p>かばんに修めた びんが収まりました</p> <p>旅行の思い出を 胸に納めてよう</p>		<p>うつつ うつつ</p> <p>映 移 写</p> <p>映に映る 鏡に移る 写す 写す</p>	

17

16

6年「違う字で同じ読み」

思考力・判断力・表現力の育成



●さまざまな情報をもとに、楽しみながら自分の考えを表現する教材です。言葉だけでなく、絵・写真・図表などの多様な情報に関連つけて解釈する力を育みます。

●各学年に「話すこと・聞くこと」「書くこと」に対応した二本の教材(プラザ)を配置しています。

●全国学力・学習状況調査のB問題にも対応しています。

話すこと・聞くこと

1年「ねえ、どっち？」

ねえ、どっち?

おねえさん、どっちがきれいかな? ぼくは、おねえさんの方がきれいかな? とおねえさんに聞いてみた。おねえさんは、どっちもきれいだよ、と答えた。ぼくは、どっちもきれいだよ、と答えた。おねえさんは、どっちもきれいだよ、と答えた。ぼくは、どっちもきれいだよ、と答えた。

2年「電話つたええよ!」

電話つたええよ!

おねえさん、電話つたええよ! とおねえさんに電話した。おねえさんは、電話つたええよ、と答えた。ぼくは、電話つたええよ、と答えた。おねえさんは、電話つたええよ、と答えた。ぼくは、電話つたええよ、と答えた。

3年「南の島へようこそ」

南の島へようこそ

あなたは、南の島のかんこうガイドです。港にお客さまが、どうあやしくしました。有名なところも三つ、あんないでほしいと書いています。お客さまによるこんでもらえるコースを考えて、ぜひめいしましょう。

島をおとすれたお客さまたち

と五郎さん(八三三三) 島のお土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。

ハナコさん(四二四二) 島のお土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。

なぞのたけん家(うさぎ) 島のお土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。お土産をたくさん買った。

4年「大きくなったらなりたいもの」

大きくなったら なりたいもの

1978年		2006年	
男子	女子	男子	女子
1. 野球選手	1. 野球選手	1. エンターテインメント関係の仕事	1. 幼稚園教諭
2. 会社員	2. 会社員	2. 医者	2. 先生
3. 学生	3. 学生	3. 公務員	3. 公務員
4. 会社員	4. 会社員	4. 会社員	4. 会社員
5. 会社員	5. 会社員	5. 会社員	5. 会社員
6. 会社員	6. 会社員	6. 会社員	6. 会社員
7. 会社員	7. 会社員	7. 会社員	7. 会社員
8. 会社員	8. 会社員	8. 会社員	8. 会社員
9. 会社員	9. 会社員	9. 会社員	9. 会社員
10. 会社員	10. 会社員	10. 会社員	10. 会社員

写真と絵、どちらを選ぶ?

写真と絵、どちらを選ぶ? とおねえさんに聞いてみた。おねえさんは、写真の方がいいよ、と答えた。ぼくは、絵の方がいいよ、と答えた。おねえさんは、写真の方がいいよ、と答えた。ぼくは、絵の方がいいよ、と答えた。

6年「どんな国?」

どんな国?

国	割合
アメリカ	15.8%
ヨーロッパ	11.8%
アジア	4.8%
アフリカ	4.8%
オセアニア	0.8%

5年「写真と絵、どちらを選ぶ?」

書くこと

2年「なにをつたえようとしているの」

「なにをつたえようとしているの」

「なにをつたえようとしているの」

「なにをつたえようとしているの」

「なにをつたえようとしているの」

1年「いぬの きもち」

「いぬの きもち」

「いぬの きもち」

「いぬの きもち」

「いぬの きもち」

「何をしているのかな」

「何をしているのかな」

「何をしているのかな」

「何をしているのかな」

3年「何をしているのかな」

4年「写真に題名をつけよう」

「写真に題名をつけよう」

「写真に題名をつけよう」

「写真に題名をつけよう」

「写真に題名をつけよう」

6年「あなたの意見は？」

「あなたの意見は？」

「あなたの意見は？」

「あなたの意見は？」

「あなたの意見は？」

5年「「のあぐ、びなごう」」

「のあぐ、びなごう」

「のあぐ、びなごう」

「のあぐ、びなごう」

「のあぐ、びなごう」

図書館活用と情報リテラシー



● 図書館指導を国語教科書の中に明確に位置づけ、子どもたちの主体的な図書館活用を促しています。
 ● 現代の子どもたちの実態に即して、情報の扱い方やメディアの読み取り方を身につける教材を、各学年系統的、体系的に配列しました。

図書館活用

各学年のはじまりの教材に「図書館へ行く」を設定し、図書館へ行く習慣づけができるように配慮しています。

13 5年「図書館へ行く」

5年「図書館へ行く」



● 読書習慣

本を借りたり、読んでみるうちに、読書の楽しさや大切さを知ります。



● インターネット

検索機能やデータベースを利用して、必要な情報を調べます。



● 目録

目録を参考に、必要な資料を探し、借りることができます。



● 読書習慣

本を借りたり、読んでみるうちに、読書の楽しさや大切さを知ります。



● インターネット

検索機能やデータベースを利用して、必要な情報を調べます。



● 目録

目録を参考に、必要な資料を探し、借りることができます。

3年「図書かんへ行く」



● 読書習慣

本を借りたり、読んでみるうちに、読書の楽しさや大切さを知ります。



● インターネット

検索機能やデータベースを利用して、必要な情報を調べます。



● 目録

目録を参考に、必要な資料を探し、借りることができます。



● 読書習慣

本を借りたり、読んでみるうちに、読書の楽しさや大切さを知ります。



● インターネット

検索機能やデータベースを利用して、必要な情報を調べます。



● 目録

目録を参考に、必要な資料を探し、借りることができます。

「情報センター」や「学習センター」として図書館を活用できるよう、図書館の使い方や文献の調べ方を取り立てて教材化しています。

17 5年「本の分類を知ろう」

5年「本の分類を知ろう」

● 本の分類

1 類	資料書類 - 年かんなど
2 類	図説 - 地理・歴史など
3 類	歴史 - 地理・歴史など
4 類	社会 - 政治・教育など
5 類	理科 - 算数・動物など
6 類	工業 - 家庭科・環境など
7 類	農業 - 交通など
8 類	芸術 - スポーツなど
9 類	音楽 - 図説など

本の分類を知ろう

4年「百科事典で調べよう」

18 4年「百科事典で調べよう」

4年「百科事典で調べよう」

情報リテラシー

情報を収集し、整理し、編集し、
発信する力を培います。

新聞のくふうを知ろう

「山中教授ノーベル賞 万能細胞iPS細胞を作った」という記事のスクリーンショットが示されています。記事には、山中伸弥博士がiPS細胞の発見に貢献したことが報じられています。記事の構成要素（見出し、本文、写真、図表）が番号で示されています。

1. 見出し
2. 写真
3. 本文
4. 本文
5. 本文
6. 本文
7. 本文
8. 本文

この新聞記事は、山中伸弥博士がノーベル賞を受賞したことを報じています。記事は、山中博士の経歴、iPS細胞の発見の経緯、その重要性、そしてノーベル賞授賞式の様子が詳しく紹介されています。

4年「新聞のくふうを知ろう」

インターネットを使って調べよう

インターネットで情報を検索する様子や、検索結果の表示画面が示されています。検索エンジンやデータベースの画面が写っています。

インターネットを使って調べよう。検索エンジンを使って必要な情報を集めよう。

5年「インターネットを使って調べよう」

レポートの組み立て

レポートの構成要素と各部分の書き方に関する図解が示されています。目次、本文、参考文献の構成が明確に示されています。

1. 目次
2. 本文
3. 参考文献

目次は、各章のページ番号を明記し、本文は、導入部、本論、結論の順で記述します。参考文献は、引用した資料の情報を正確に記載します。

6年「レポートの組み立て」

なかま分けをしよう

果物のなかま分けの図解が示されています。バナナ、いちご、リンゴ、人参、ピーマン、トマトなどの果物をグループ分けしています。

バナナ、いちご、リンゴ、人参、ピーマン、トマト

果物を種類や色、大きさなどでグループ分けし、それぞれの特徴を説明します。

2年「なかま分けをしよう」

3年「アンケートを活用しよう」

アンケートを活用しよう

アンケートの活用方法に関する図解が示されています。アンケートの目的、質問の作成、回収、分析の過程が詳しく説明されています。

アンケートの活用方法

1. アンケートの目的を明確にする
2. 質問の作成
3. アンケートの回収
4. アンケートの分析

アンケートの結果を分析し、改善点を見つけることができます。

4年「インタビューをするときには」

インタビューの準備と実施に関する図解が示されています。インタビューの目的、質問の作成、実施の場、振り返りの過程が詳しく説明されています。

インタビューの準備と実施

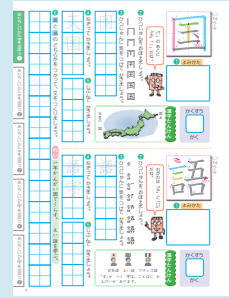
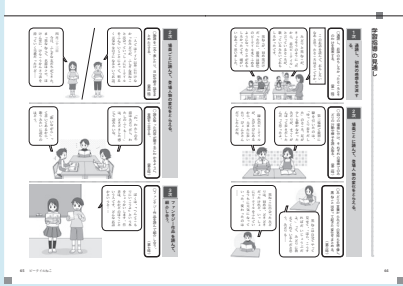
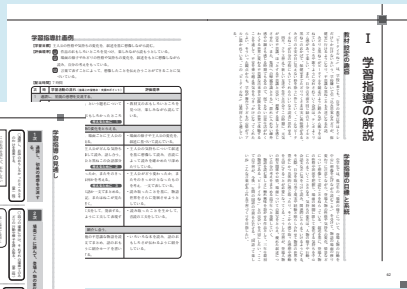
1. インタビューの目的を明確にする
2. インタビューの準備
3. インタビューの実施
4. インタビューの振り返り

インタビューを通じて、相手の考えや経験を学ぶことができます。



4年「インタビューをするときには」

サポート・ネットワーク・プログラム(SNP)



- 学習指導書
- 朱書編
- 音読・朗読CD

- 漢字の学習

- 「小学生の国語
デジタルテキスト」
- 掛図

学習
指導書

児童用
教材

指導用
教材

サポート
書籍

「ことば
の学び」

教科書を中心とした
「サポート・ネットワーク・プログラム」を
提案します。



辞書

ウェブ
サイト

<http://tb.sanseido-publ.co.jp>



三省堂『小学生の国語 デジタルテキスト』



みんなとつながる 学びがひろがる

参考資料
参考映像

ペン機能

関連紙面への
リンク

漢字などの
フラッシュ型
教材

朗読機能

筆順
アニメーション

言語の
導入ゲーム



三省堂は、CoNETSのプラットフォームを通じて、指導用及び学習者用のデジタル教科書を発行して参ります。詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。

<http://www.conets.jp/>

つながる、ひろがる、私の教科書

 CoNETS

編集委員

中渚正義 兵庫教育大学名誉教授
あまんきみこ 作家

尾木和英 東京女子体育大学名誉教授

三浦和尚 愛媛大学

井出一雄 玉川大学

北川達夫 日本教育大学院大学

平田オリザ 劇作家、演出家

堀田龍也 玉川大学

青木由美子 東京都世田谷区立松丘小学校

足立幸子 新潟大学

安部朋世 千葉大学

阿部藤子 お茶の水女子大学附属小学校

伊坂淳一 千葉大学

今宮信吾 関西大学初等部

後路好章 児童文学研究家

遠藤真司 東京都練馬区立光が丘夏之雲小学校

大久保旬子 東京都墨田区立第四吾嬬小学校

大杉稔 滋賀県高島市立新旭北小学校

大村幸子 東京都武蔵野市立桜野小学校

川上郁雄 早稲田大学

河野順子 熊本大学

岸本憲一良 山口大学

吉川芳則 兵庫教育大学

塩谷京子 関西大学初等部

篠田信司 I・L・E・C言語教育文化研究所

清水健 元東京都中央区立城東小学校

真如むつ子 東京都昭島市立拝島第三小学校

鈴木優子 国語教育研究家

高橋俊三 元群馬大学

田中智生 岡山大学

長崎伸仁 創価大学

夏井いつき 俳人、エッセイスト

西田太郎 東京都品川区立台場小学校

堀切和雅 劇作家、エッセイスト

牧戸章 滋賀大学

松友一雄 福井大学

松本仁志 広島大学

三浦修一 横浜国立大学

宮川健郎 武蔵野大学

宮島雄一 元東京都荒川区立瑞光小学校

株式会社三省堂



株式会社 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2丁目22番14号
☎03-3230-9411 (編集)・9556 (営業)

大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎06-6341-2177
名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-25-43 瑞穂ビル4F ☎052-252-9211
九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎092-531-1531
札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F ☎011-616-8722